

形式：オンラインセミナー（Live 配信）

補足：Live 配信に加え【見逃し配信】も実施します。当日の受講が難しい場合は見逃し配信をご視聴ください（配信期間は10日間程度）

ジャンル：汎用スキル（QC, ものづくり, ビジネス）

講習会コード： t d s 2 0 2 5 0 8 0 6 r 1

①プレゼンの基本、②論理的で説得力のある資料構成・説明方法・表現方法、③話し方やジェスチャについて、すぐに使えるテクニックやコツも紹介しながら解説します。わずか半日で効果を実感できるプログラムになっています。

～指導実績 1000 人以上の講師が上達の秘訣を半日で解説！～

## “技術プレゼンテーション”の基本と資料作成・説明のテクニック

講師：東京農工大学 名誉教授 博士(工学) (元 ㈱日立製作所 中央研究所 主管研究員) 北原義典 先生

1981年 広島大学大学院修士課程修了。同年 (株)日立製作所入社、中央研究所配属。音声合成、音声言語、感性情報処理、ヒューマンインタフェースの研究開発や研究室マネジメント、テーマ提案教育、特許化推進マネジメントなどの業務に従事(1986～89年 (株)ATR 視聴覚機構研究所にて聴覚の研究に従事)。1996年 東京大学大学院工学研究科博士号学位取得(博士(工学))。2014年より、消費者行動研究、コミュニケーション研究、技術経営指導、発表・プレゼンテーション指導などに取り組む。2021年3月に退官。現在は、法政大学や拓殖大学で非常勤講師として教鞭を執る。著書には『謎解き・人間行動の不思議』(講談社、2009)、『なぜ、口べたなあの人、相手の心を動かすのか?』(講談社)、『イラストで学ぶヒューマンインタフェース』(講談社)、『はじめての技術者倫理』(講談社)、『イラストで学ぶ認知科学』(講談社)などがある。

●日程 2025年8月6日(水) 13:00～17:30

●受講料 見逃配信なし 29,700円(税込) / 見逃配信つき 36,300円(税込) ※6/13までのお申込で **2割引**となります

### <プログラム>

#### 1. プレゼンテーションの基本とポイント

- 技術プレゼンテーションとは
- プレゼンの顧客価値
- 伝わるプレゼンの構造
- 相手に合わせたプレゼンを
- 聞き手を巻き込む
- 技術を形で見せる

#### 2. このようにスライドを作れば伝わる

- スライドの基本構成
- スライド枚数はこう決める
- 基本書式を決める
- プレゼン資料の3原則
- 色の使い方
- タイトルのつけ方
- 適切なフォントとサイズ
- ゲシュタルトにより視認性を上げる
- 関係図を効果的に使う
- グラフの選び方
- ベンチマークは重要
- イラストを効果的に使う
- アニメーションの活用と注意

#### 3. このように話せば伝わる

- 論理的に話すことの重要性
- 相手が頭に絵が描けるように話す
- たとえて話す
- 書き言葉で話さない
- 専門用語はこう使う
- 声の大きさと速さ
- プロソディで表現力をつける
- 上手い人は視線、顔をこう動かす
- さりげないジェスチャを
- 指示棒、ポイントの使い方

#### 4. プレゼンの実践に際して

- 残念ながら外見が好感をもたらす
- 芝居を演じると思って割り切る
- あがらない方法
- 聴衆の反応をみる
- 単調にならない工夫
- 時間通りにプレゼンを終わらせるには
- オンラインプレゼン
- プレゼンを刷り込む

### <特徴>

- ★ 体系化された重要ポイント
- ★ 学術データに裏付けされたプレゼン技術
- ★ すぐに使えるコツ・テクニック満載
- ★ 一人のできるトレーニング方法も紹介

### <受講者の声>

- 🗨️ プレゼンの実践例が動画で分かりやすかった
- 🗨️ 4時間の講義があつという間だった
- 🗨️ 先生の話し方が講義内容と合致していて、参考になった

### <習得知識>

1. 論理的な考え方・説明の仕方
2. 効果的なスライド構成
3. 説得力のある表現方法(文章、図表、数字の使い方)
4. わかりやすく説得力のある話し方
5. プレゼン時の視線、顔の動かし方、ジェスチャのコツ

### <こんな方にお勧めです>

- ・ プレゼンの講義(教育)を受けたことがない方
- ・ 技術プレゼンの基本的なやり方を学びたい方
- ・ プレゼンの苦手意識を克服したい・自信をつけたい方
- ・ 人前で話すのが苦手な方 / 説明するのが苦手な方

### <講義概要>

プレゼンの基本を身につけたい、「開発テーマや技術をわかりやすく伝えるコツを知りたい」、「人前で話すのが苦手なので、克服したい」など、プレゼンに対して苦手意識を持っている方は少なくないと思います。しかし、基本的なところを押さえていただければプレゼンスキルは確実に上達します。講師は、長年にわたり企業の研究開発に携わり、大学でも研究開発マネジメントの講義を担当するなど豊富な経験を有しています。特にプレゼンスキルについては、企業及び大学で1000名以上を指導してきており、これら体験に基づいた技術プレゼンの基本とテクニックを紹介します。具体的には、プレゼンスライドの作り方から始まり、説得力のある話し方、表現力のつけ方、視線の配り方、あがらない方法、時間内に終わる方法などについて解説します。また、説明・表現力、話し方・ジェスチャのレベルアップに効果的な一人でもできるトレーニング方法もいくつか紹介します。

# <お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）

  
**FAX**  
**03-6261-7924**

申込講座	2025/8/6	“技術プレゼンテーション”の基本と資料作成・説明のテクニック	<input type="checkbox"/> 見逃配信なし	<input type="checkbox"/> 見逃配信つき
会社名※				
所在地※ <small>（請求書等の送付先）</small>	〒			
参加者①	氏名※		TEL※	
	所属※		FAX	
			役職	
	Email※		@	
会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small>			
参加者②	氏名※		TEL※	
	所属※		FAX	
			役職	
	Email※		@	
会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small>			
支払方法※	<input type="checkbox"/> 銀行振込（紙請求書） <input type="checkbox"/> 銀行振込（PDF請求書） <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する			
支払予定日※	<input type="checkbox"/> [    ] 月 [    ] 日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する			
備考※				

## お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先： <a href="mailto:entry@tech-d.jp">entry@tech-d.jp</a> メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	<a href="https://tech-d.jp/">https://tech-d.jp/</a> の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

### <注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

## お支払について

### <期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

### <方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

### 【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店（909）
口座番号	（普） 0 9 7 3 5 2 2
名義	株式会社テックデザイン

<b>主催 申込・問合せ先</b>	名称	株式会社テックデザイン（ <a href="http://www.tech-d.jp/">http://www.tech-d.jp/</a> ）		
	住所	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	電話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ）		